

News Letter

2000.4.1
No. 3

今回のMENU

近況報告

各地の動向

理事会報告

シンポジウムの報告

総会の案内

協会近況報告

昨年10月、今年の1月に続いて、第3号のニュースレターをお届けいたします。この2月・3月は劇的に様々なことが動いています。

協会にも全国から今後の活動について問い合わせが続いていますが、この総会で方針を決定し、教育改革に向けたさまざまな活動が始まって参りますので、全国各地での活動をよろしくお願いたします。

さて、前回のニュースレター以後の3月までの協会近況について報告をいたします。

右の表が前回のニュースレター以後の主な動きです。これを見てもおわかりのように、行政との交渉が多くありました。今、民間と行政との関係作りが大きく動きつつあります。全国の会員が今年の4月からはじまる「小学生の英語教育」に向けて、文部省だけではなく、地方自治体との交渉に入っており、今年の春からは具体的に民間の力をもって教育を担っていくことになりそうです。松香フォニックス研究所の松香先生が全国で進めている児童英語指導者研修会を協会としても応援して、この流れを主体的に担っていきます。

この活動にご興味のある方は協会のホームページの掲示板を通じて全国の方々から情報が集まっていますのでご覧下さい。

教育シンポジウムは1月に岐阜、2月に長野で開催しました。岐阜は参加者が少なく残念でしたが、長野では茅野市の協力もあって多くの方々参加了。この2回のシンポジウムも今後の協会の活動に向けて大きな示唆を与えていただきました。

総会に向けて議案書の内容もニュースレターに開催しますので、会員の皆さんもぜひ多くの方が総会へ参加いただき具体的な活動に向けた討議をお願いいたします。
(記：吉田 博彦)

この間の主な出来事

1月30日 第3回教育シンポジウム開催(岐阜)

詳細は別項を参照

2月5日 地域父母懇談会(横浜)

2月9日 指導者研修会(仙台)

2月19日 地域父母懇談会(大宮)

2月24日 文部省青少年教育課事業説明会

会場は代々木の青少年センターで、子どもセンターの運営などに関して説明があった。詳細は近況報告参照

2月25日 文部省初等教育局との会合

出席者：三浦企画官・上里顧問・吉田代表・五藤事務長

2月26日 第4回教育シンポジウム(長野)

長野茅野市で開催、詳細は別項を参照

3月4日 教育支援協会事業説明会

会場は国立教育会館で全国から50名が参加し、来年度に向けた活動の体制を決定。

3月5日 第6回理事会開催

3月6日 文部省青少年教育課との会合

3月7日 指導者研修会(仙台)

3月7日 栃木県大田原市教育委員会との会合。協力体制の確認。

3月19日 京都事務局会議

関西地区における活動の体制を決定。

3月23日 児童英語指導者研修会(東京)

3月27日 盛岡事務局会議

東北地区における活動の体制を決定

3月28日 児童英語指導者研修会(仙台)

3月30日 全国新学力テストの発送

全国の会員の動向（英会話事業を巡って）

現在の会員数 341名

岩手県 教育協同組合「作人館」が県の教育委員会と英会話の民間協力事業に向けた協議に入り、盛岡・花巻での委託を受ける方向で活動しています。

宮城県 みやぎ生協から独立した「まなびや」が中心となって活動を始めました。

栃木県 大田原市の教育委員会から英会話の民間協力事業に向けての協力要請がありました。栃木市・日光市も準備を進めているようで、坂本進学教室が中心となって準備に入っています。

東京都 クレセール進学会が東大和市・清瀬市に交渉したところ実施が決定しており、委託先も決めているとのこと。今後の協会の協力を教育委員会に働きかけていくことにしています。

神奈川県 ヨコハマ100人委員会という地域ボランティアの方々が横浜市と交渉しています。

長野県 いずみ書房の矢崎さんが実施協議会の事務局長に就任し、茅野市教育委員会と教育の民間委託に向けたモデル作りを始めています。

愛知県 モノリスをはじめ、トップ教育センター、カメヤマスクール、キッズイングリッシュクラブがこの事業に参加します。モノリスの本多さんが愛知県・名古屋市など行政との交渉をすすめています。名古屋市は今回見送ることをきめたそうです。

三重県 開明学院・アクアプランネットがこの事業に参加し準備を進めています。

京都府 成基エデュークセンターが中心となって活動を進めるため、事務局を開設し、行政と交渉を進めています。

広島県 須田塾が神辺町の町長と話し合いを持ち、協会で全ての運営を引き受けることで合意し、県に上げる計画書の作成を完了しました。

福岡県 全教研がこの事業に参加し準備を進めています。

鹿児島県 地元放送局のMBCとMEC南九州が協力してこの事業に参加し準備を進めています。県の教育委員会との話し合いから、鹿屋市と鹿児島市の教育委員会との会合を持っています。

第6回 理事会議事録 平成12年3月日(日)

場所 教育支援協会東京事務所

出席理事：吉田・佐々木・須田・岩井・多田

1. 議事の経過の概要および議決の結果

研究開発校の設置について豊橋 JC の活動を支援していることが議長より報告され、了承された。

小学校における英語事業について、茅野市教育委員会との交渉の経過が報告されるとともに大田原市からも接触があることが報告された。

茅野市での教育シンポジウムの報告がされ、これまでのシンポジウムをふまえ、テーマの設定、パネラーの人数等を工夫して、進行方法も考えるべきとの意見が出され、今後の課題とした。

総会提出の議案書についての討議

第一号議案決算、第二号議案事業計画了承。

第三号議案、事務所開設について、諏訪市、名古屋市、京都市、鹿児島市に新規に設置することが了承され、総会において事務所開設についての案内を提議すべきとの意見が提案され、了承された。

第四号議案予算について、次年度実施予定の事業の内容を向上させていくためにも実際の事業主体から、たとえ安価でもいいので登録料のような名目で協会に資金を入れるほか、事業内容を充実させるため有料の指導者研修、資格制度等の方策をすべきとの意見が提案され、検討課題とした。

第五号議案役員の改選について、提案どおり了承され、理事の役割分担を決め、当面の事業として、英語事業、グローバルキッズクラブ事業に担当理事をおくことが了承された。

総会運営につき、次年度も総会に出席しようという気にさせる工夫が必要との意見が各理事より提議され、次の理事会までの検討事項とした。

次年度理事会ではインターネットを活用した討議も必要との提案がされ、検討事項とした。

会費の納入にファクタリング業者(株)クオークによる銀行口座からの自動引き落としを来期より導入することが事務局より提案され、了承された。

民間教育推進機構(任意団体)との協力について、「子ども文芸大賞」への協力が提案され、了承された。

教育シンポジウム（岐阜）の実施報告

1月29日に岐阜県岐阜市の富田学園講堂で教育支援協会主催の「教育シンポジウム」を開催しました。

（協力：文部省民間教育事業室、時学館、富田学園）

岐阜でのテーマは教育改革における「私立学校の役割」でした。このテーマの背景にはこの4月から文部省が打ち出した「新研究開発制度」の問題があります。この制度では全く指導要領にとらわれない学校を認めることになっており、協会としてはこの制度を用いた学校作りを進めるのは、公立学校より私立学校の方だと考えて、私立学校の役割を中心に討論に入りました。

この時のパネラーを文部省からは樋口さん、県教育委員会の望月さん、私立学校から磯部さん、成瀬さん、民間教育から岩井さん、親の代表として医師の荒堀さんをお願いしました。

今回の教育改革は公教育の改革だと思われていますが、私立学校の役割もとても大切になってきます。特に公立の学校が多様化するとき、私立学校が特色を打ち出せなければ、その存在理由を失ってしまいます。

そういった観点から討論に入ったのですが、「公立・私立・塾といってもすべては教師の質にかかっているのだから、学校と言うより教師が信用できないのだ」という質問が会場から多く出されました。

これに対して行政側から教員の研修にどのように取り組んでいくのかなどの例示がありましたが、本当にうまくいくのかなというムードが会場にはありました。

確かにこの問題が、公立だろうが、私立だろうが、また民間教育だろうが、今回の教育改革において最も大きな問題だろうと思います。岐阜県では県の研修体制の説明がありましたが、民間教育を代表して岩井さんからは「民間では最初に子どもありきが原則で、その視点から見れば教員の問題はけりが付くのでは」という指摘がありました。今後のシンポでもこの問題は検討していきたいと思います。

なお、このシンポのくわしい議論内容に関しては、ある雑誌に掲載されておりますので、必要な方には送付いたします。

教育シンポジウム（長野）の実施報告

2月26日に長野県茅野市の東京理科大学諏訪短期大学11番教室で教育支援協会主催の「教育シンポジウム」を開催しました。（共催：茅野市教育委員会 協力：文部省民間教育事業室、いずみ書房）

このシンポジウムには茅野市が全面協力体制を作ってくれ、協会長野支部のいずみ書房が積極的に地域に働きかけてくれたこともあって、地域の5つの教育委員会が後援してくれました。

最初に茅野市の矢崎市長が「市としては政策の3つの柱の一つに教育を考えており、積極的に教育改革に取り組んでいきたい」と挨拶され、文部省の樋口さんの講演の後、討論に入りました。

パネラーには樋口さん、県教育委員会の土屋さん、茅野市教育委員会の両角さん、松香フォニックス研究所所長の松香さん、茅野市国際クラブの河西さん、いずみ書房の芝野さん、成基エデュケーションセンターの多田さんを迎え、この4月から始まる小学生の英会話教育の民間協力事業を題材にしてそれぞれの立場から議論をしました。

県の教育委員会では今までも多くの課題を抱えている上に、この春からも多くのやらなければならないことを抱えているので、民間が協力してもらえたらそれを歓迎したいという話があり、文部省の樋口さんからは、「行政としては、民間との協力を進める場合、最初はボランティアで関わってもらうことになる」ということを受けて、民間教育の側からは、松香さんが「もちろん最初はそうだろうが、良いものを作っていくためにはお金がかかると言うことを理解してほしい」という意見が出され、このシンポジウムで具体的な協力体制を進める場合の今後の課題が浮き彫りになったと思います。

民間の多田さんから「受験だけに必死になっている学習塾はなくなるだろう」という発言に対して、文部省の樋口さんから「塾というものはなくなる」という発言もあり、会場からは驚きの声もあがっておりました。

なお、シンポのくわしい議論内容に関しては、現在編集中ですので、必要な方には後日送付いたします

総会に関して

前回のニューズレターでお知らせいたしましたように、今年度の教育支援協会の通常総会を平成 12 年 4 月 9 日（日）に以下のように開催いたします。

本総会は賛助会員の方でも傍聴ができます。会場の席数に限りがありますので、傍聴される方は必ず事前に協会事務局までご連絡下さい。

総会の内容

会場：東京国際フォーラム（602）JR 有楽町駅前

受付開始午後 0：30 午後 1 時～午後 4 時

総会式次第

1. 開会の辞
 2. 議長選出
 3. 出席者数及び委任状報告
 4. 代表理事挨拶
 5. 議事平成 11 年度活動報告
- [教育支援協会 代表幹事 吉田 博彦]

第一号議案

第 1 期決算に関する議案

第二号議案

本年度事業活動計画に関する議案

第三号議案

事務所開設に関する議案

第四号議案

平成 12 年度予算に関する議案

第五号議案

役員人事に関する議案

6. 議長解任
7. 新役員挨拶
8. 閉会

懇親会のお知らせ

総会終了後、有志の呼びかけにより、総会会場近くの「八重洲富士屋ホテル」にて会員同士の懇親会が予定されております。年に一度の総会に全国から会員が集まりますので、情報交換会をかねての懇親会ですので、参加される方は事前に協会事務局までご連絡下さい。

次期役員候補者

ニューズレターを通して来年度役員を公募しておりましたが、期限までに立候補者がありません。そのため、吉田代表理事より以下の方々が役員の候補に指名されました。

第 2 期理事候補（00年5月～02年3月）

代表幹事 吉田 博彦（専従）

専務理事 若狭 昭彦
（樹香舎代表取締役）

理事 佐々木喜一
（成基コミュニティー 代表）

理事 須田 正則
（須田塾代表取締役）

理事 岩井 良明
（モノリス代表取締役）

理事 遠藤 貴子
（松香フォニックス研究所事務長）**新任**

理事 多田昭寛
（成基エデュークセンター代表）**新任**

監事 吉田 州男
（日本共済理事長）**新任**

協会ホームページの活用をお願いします

教育支援協会のホームページは会員相互の意見交換や体験学習の発表の場として使用できるように、掲示板機能を設けてあります。現在、英会話事業を中心に各地区から情報が寄せられておりますが、どうかこれを活用いただき、各会員からの情報発信をお願いいたします。

もちろん、会員の方々に教育活動に携わっている方々場合、その運営に対する意見交換・情報交換に使用されても結構です。使用方法に関しては何の制限もありません。ご活用下さい。

ホームページアドレス

<http://www.alc.co.jp/oss/oss4/super.html>

教育支援協会

〒105-0003 東京都港区西新橋 3 - 2 3 - 5 御成門郵船ビル 1 2 階

東京事務局

03-3434-0352 FAX 03-3434-0353 E-mail super-k12@mua.biglobe.ne.jp

中部連絡事務所

052-800-1055